



沿革

KFCJの歩み

私たちは、1970年の日本上陸から、カーネル・サンダースの想いを受け継ぎ、挑戦し続けてきました。

1970's

1980's

1990's

2000's

2010's

2020's



■1970年 3月
日本万国博覧会に米国KFCの実験店を出店、1日に最高280万円の売上を記録

■1980年 5月
カーネル・サンダース3回目の来日

■1970年 7月
米国ケンタッキー・フライド・チキン・コーポレーションと三菱商事(株)との折半出資により資本金7,200万円をもつて日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)を設立

■1980年 12月
カーネル・サンダース(90歳)逝去

■1970年 11月
名古屋市西区にケンタッキーフライドチキン(KFC)1号店、名西店開店



■1971年 7月
青山店(5号店)を皮切りに東京に進出

■1988年 11月
KFCチェーン年間セールス1,000億円達成

■1971年 9月
KFCフランチャイズ1号店、江ノ島店開店

■1989年 2月
生産体制を充実させるため「KFCカットチキン生産認定工場制度」を発足

■1972年 10月
カーネル・サンダース初来日



■1974年 12月
初のクリスマスキャンペーン実施

■1977年 6月
日本のファストフードチェーンで初めてのドライブスルー店舗、久米川店開店

■1977年 11月
本社を東京・恵比寿スヤマビルに移転

■1978年 6月
カーネル・サンダース2回目の来日

■1990年 8月
日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)東京証券取引所第二部に株式上場



■1988年 7月
高知潮江店開店で全都道府県への出店を達成



■1992年 7月
KFCチェーン1,000号店、新千歳空港店開店

■1992年 11月
R&D施設「カーネルセンター」(東京都北区)開設

■1994年 11月
スペシャルオリンピックス日本設立と同時に、支援を開始

■1995年 3月
本社を東京・恵比寿JT恵比寿南ビルに移転

■1995年 4月
KFCでデリバリーを本格導入



■1990年 10月
国連WFPへの支援活動を開始

■2007年 10月
日本KFCホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制へ移行

■2014年 4月
シンガポールに投資持株会社を設立、タイKFC事業に参画

■2016年 8月
シンガポールに投資持株会社を設立、タイKFC事業に参画

■2017年 2月
本社とR&D施設を東京・恵比寿から神奈川・みなどみらいに移転

■2018年 2月
(株)ビー・ワイ・オーと資本・業務提携契約締結

■2019年 3月
同社が運営する和食チェーン「おぼんdeごはん」

■2020年 7月
創業50周年を迎える

■2020年 11月
厚生労働大臣認定「くるみんマーク」初取得

■2021年 3月
10代目となる新ユニフォームが登場

■2021年 6月
厚生労働大臣認定「えるぼし3段階」初取得

■2022年 3月
経済産業省及び日本健康会議認定「健康経営優良法人2022」初取得

■2023年 10月
KFC1号店発祥の地にヨシヅヤ名古屋西店オープン

■2024年 3月
住吉大社にて人形納めを実施

■2024年 5月
武者カーネル設置開始から40周年を迎える

■2024年 7月
KFCおいしナブルキッチン開始

■2024年 9月
カーライル・グループによる日本KFCの完全子会社化

■2025年 6月
KFCJの完全子会社化

■2026年 6月
KFCJの完全子会社化

■2027年 6月
KFCJの完全子会社化

■2028年 6月
KFCJの完全子会社化

■2029年 6月
KFCJの完全子会社化

■2030年 6月
KFCJの完全子会社化

■2031年 6月
KFCJの完全子会社化

■2032年 6月
KFCJの完全子会社化

■2033年 6月
KFCJの完全子会社化

■2034年 6月
KFCJの完全子会社化

■2035年 6月
KFCJの完全子会社化

■2036年 6月
KFCJの完全子会社化

■2037年 6月
KFCJの完全子会社化

■2038年 6月
KFCJの完全子会社化

■2039年 6月
KFCJの完全子会社化

■2040年 6月
KFCJの完全子会社化

■2041年 6月
KFCJの完全子会社化

■2042年 6月
KFCJの完全子会社化

■2043年 6月
KFCJの完全子会社化

■2044年 6月
KFCJの完全子会社化

■2045年 6月
KFCJの完全子会社化

■2046年 6月
KFCJの完全子会社化

■2047年 6月
KFCJの完全子会社化

■2048年 6月
KFCJの完全子会社化

■2049年 6月
KFCJの完全子会社化

■2050年 6月
KFCJの完全子会社化

■2051年 6月
KFCJの完全子会社化

■2052年 6月
KFCJの完全子会社化

■2053年 6月
KFCJの完全子会社化

■2054年 6月
KFCJの完全子会社化

■2055年 6月
KFCJの完全子会社化

■2056年 6月
KFCJの完全子会社化

■2057年 6月
KFCJの完全子会社化

■2058年 6月
KFCJの完全子会社化

■2059年 6月
KFCJの完全子会社化

■2060年 6月
KFCJの完全子会社化

■2061年 6月
KFCJの完全子会社化

■2062年 6月
KFCJの完全子会社化

■2063年 6月
KFCJの完全子会社化

■2064年 6月
KFCJの完全子会社化

■2065年 6月
KFCJの完全子会社化

■2066年 6月
KFCJの完全子会社化

■2067年 6月
KFCJの完全子会社化

■2068年 6月
KFCJの完全子会社化

■2069年 6月
KFCJの完全子会社化

■2070年 6月
KFCJの完全子会社化

■2071年 6月
KFCJの完全子会社化

■2072年 6月
KFCJの完全子会社化

■2073年 6月
KFCJの完全子会社化

■2074年 6月
KFCJの完全子会社化

■2075年 6月
KFCJの完全子会社化

■2076年 6月
KFCJの完全子会社化

■2077年 6月
KFCJの完全子会社化

■2078年 6月
KFCJの完全子会社化

■2079年 6月
KFCJの完全子会社化

■2080年 6月
KFCJの完全子会社化

■2081年 6月
KFCJの完全子会社化

■2082年 6月
KFCJの完全子会社化

■2083年 6月
KFCJの完全子会社化

■2084年 6月
KFCJの完全子会社化

■2085年 6月
KFCJの完全子会社化

■2086年 6月
KFCJの完全子会社化

■2087年 6月
KFCJの完全子会社化

■2088年 6月
KFCJの完全子会社化

■2089年 6月
KFCJの完全子会社化

■2090年 6月
KFCJの完全子会社化

■2091年 6月
KFCJの完全子会社化

■2092年 6月
KFCJの完全子会社化

■2093年 6月
KFCJの完全子会社化

■2094年 6月
KFCJの完全子会社化

■2095年 6月
KFCJの完全子会社化

■2096年 6月
KFCJの完全子会社化

■2097年 6月
KFCJの完全子会社化

■2098年 6月
KFCJの完全子会社化

■2099年 6月
KFCJの完全子会社化

■2000年 6月
KFCJの完全子会社化

■2001年 6月
KFCJの完全子会社化

■2002年 6月
KFCJの完全子会社化

■2003年 6月
KFCJの完全子会社化

■2004年 6月
KFCJの完全子会社化

■2005年 6月
KFCJの完全子会社化

■2006年 6月
KFCJの完全子会社化

■2007年 6月
KFCJの完全子会社化

■2008年 6月
KFCJの完全子会社化

■2009年 6月
KFCJの完全子会社化

■2010年 6月
KFCJの完全子会社化

■2011年 6月
KFCJの完全子会社化

■2012年 6月
KFCJの完全子会社化

■2013年 6月
KFCJの完全子会社化

■2014年 6月
KFCJの完全子会社化

■2015年 6月
KFCJの完全子会社化

■2016年 6月
KFCJの完全子会社化

■2017年 6月
KFCJの完全子会社化

■2018年 6月
KFCJの完全子会社化

■2019年 6月
KFCJの完全子会社化

■2020年 6月
KFCJの完全子会社化

■2021年 6月
KFCJの完全子会社化

■2022年 6月
KFCJの完全子会社化

■2023年 6月
KFCJの完全子会社化

■2024年 6月
KFCJの完全子会社化

■2025年 6月
KFCJの完全子会社化

■2026年 6月
KFCJの完全子会社化

■2027年 6月
KFCJの完全子会社化

■2028年 6月
KFCJの完全子会社化

■2029年 6月
KFCJの完全子会社化

■2030年 6月
KFCJの完全子会社化

■2031年 6月
KFCJの完全子会社化

■2032年 6月
KFCJの完全子会社化

■2033年 6月
KFCJの完全子会社化

■2034年 6月
KFCJの完全子会社化

■2035年 6月
KFCJの完全子会社化

■2036年 6月
KFCJの完全子会社化

■2037年 6月
KFCJの完全子会社化

■2038年 6月
KFCJの完全子会社化

■2039年 6月
KFCJの完全子会社化

■2040年 6月
KFCJの完全子会社化

■2041年 6月
KFCJの完全子会社化

■2042年 6月
KFCJの完全子会社化

■2043年 6月
KFCJの完全子会社化

■2044年 6月
KFCJの完全子会社化

■2045年 6月
KFCJの完全子会社化

■2046年 6月
KFCJの完全子会社化

■2047年 6月
KFCJの完全子会社化

■2048年 6月
KFCJの完全子会社化

■2049年 6月
KFCJの完全子会社化

■2050年 6月
KFCJの完全子会社化

■2051年 6月
KFCJの完全子会社化

■2052年 6月
KFCJの完全子会社化

■2053年 6月
KFCJの完全子会社化

■2054年 6月
KFCJの完全子会社化

■2055年 6月
KFCJの完全子会社化

<

沿革

商品の歩み

チキンのスペシャリストとして、誰にも真似できないおいしい商品を、時代に合わせてお客様にお届けしてきました。

1970's

1980's

1990's

2000's

2010's

2020's

■1970年発売
「オリジナルチキン」

「こんなにおいしいものがあるのか」と誰もが驚いたほど!
11種類のハーブ&スパイスと
圧力釜調理が
おいしさのヒミツ。



コールスロー

カーネルの生まれ故郷、アメリカ南部の家庭料理。チキンとの相性もばっちり!



ポテト

ジャガイモを太くカットした形は、素材の味わいを生かすKFCならではのスタイルです。

■1983年発売
チキンフィレサンド

日本発祥*でチキンの一枚肉を挟んでいるので「サンド」と呼んでいました。
*日本発祥で世界中のKFCで親しまれています。

■1984年発売
ナゲット

研究のため、わざわざアメリカに試食しに行つたそう。「オリジナルチキン」と同じ11ハーブ&スパイスを使ってます。

■1985年発売
パーティバーレル

KFC独自のたる型パッケージにチキンはもちろん、サイドメニュー やクリスマス絵皿をセット。

■1987年発売
ビスケット

お店で焼いたおいしい商品をお届けするため、全店にオープンを導入しました。



一口サイズで食べられる、まさにポップコーンのような手軽さ!

■1999年発売
ポップコーンチキン

一口サイズで食べられる、まさにポップコーンのような手軽さ!

■1995年発売
和風チキンカツサンド

発売当初は千切りキャベツではなくレタスを挟んでいました。

■1996年発売
チキンポットパイ

サクッとしたパイ生地とアツアツのクリームシチューがたまらない冬の定番!

■1998年発売
カーネルクリスピーアー

にんにく&醤油の風味と、天ぷらのようなサクサクとした食感が後を引くおいしさです。

■1999年発売
月見チキンフィレサンド

チキンと相性の良い半熟仕立てのたまごを挟んだ、秋にぴったりなサンド。

